

## 「環境再生計画」に基づく県の取組状況等

### 1 自然再生（森林整備）

「森林整備計画」に基づき、八戸市森林組合と連携し、樹木の生育状況の評価や、つる植物やグミの剪定等による植栽地の管理を行っている。

#### 【令和5年7月 八戸市森林組合による生育状況の評価】

「ヤナギ、ハンノキ、ヤシャブシなど、森を形成する初期段階に見られる先駆樹種の成長が目立っており、全体的な生育状況はおおむね順調である。全体的につる植物が減っており、駆除した効果がでていいる。現場内に様々な動物の糞が見られ、野生動物<sup>\*</sup>がきていることがわかる。森林化してきている良い兆候である。

※現場内で確認されている野生動物

ノウサギ、アナグマ、ニホンカモシカ、ツキノワグマ

### 2 地域振興

青森県の有効活用エリア（現在1号雨水貯留池として使用中）について、岩手県との一体的な利活用の実現可能性を探るため、情報収集を行っている。

岩手県では、令和5年11月に岩手県側現場土地の公売に向けた市民・企業向け現場等説明会が開催され、公売対象の土地の現状や周辺土地の説明がなされたところ。

○公売時期：令和7年度以降予定

○公売面積：約15ha

※岩手県説明会資料は資料4-2のとおり

### 3 情報発信

#### （1）ウェブアーカイブの更新

環境モニタリング調査結果、植栽地の定点撮影写真や原状回復事業の記録等を速やかに更新している。

令和5年8月時点の植栽地の定点撮影写真は資料4-3のとおり。

○アーカイブ年間アクセス件数（平成26年7月公開）

H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
5,752	10,054	8,353	8,168	6,427	5,537	5,692	5,690	7,911	4,104

R5は12月末時点

※ R5年度から県ホームページのアクセス件数の算出方法が変更となっている。

※ 従前はWebサイトのページ単位で計測されてきたが、変更後は一連の流れでのアクセスは、同一ユーザとして計測される。

## (2) 現場見学

不法投棄現場の原状回復状況や森林整備状況等を直接見ていただけるよう、現場見学の希望に対応しており、継続していく。

### 【過去3年の見学者数】

区 分	R 3	R 4	R 5 (12月まで)
一般	3	1	14
教育機関	68	6	39
自治体（本県以外）	4	3	6
本県関係	10	15	8
計	85	25	67

## (3) 公共施設等での資料展示

田子町立上郷公民館及び現場事務所において写真パネル、田子町立図書館において映像資料や冊子資料の配置を継続している。

令和5年12月には、田子町立図書館にウェブアーカイブ紹介チラシと、ウェブアーカイブの主要部分を印刷した資料を新たに配置した。

## (4) 教育機関等との連携

### ア 小学校関係

田子町周辺自治体の小学校による現場見学の実施に向けて、令和5年12月に周辺自治体の教育委員会と意見交換を実施し、各学校への情報提供を依頼した。

### イ 中学校関係

若い世代への事案周知に向けて、所管する教育委員会と事前調整の上、令和5年7月に八戸市及び三戸郡内の中学校全35校に対し、ウェブアーカイブの周知に係る依頼文書を発出した。

### ウ 大学関係

東北福祉大学産業福祉マネジメント学科野呂ゼミ（地域経済・地域イノベーションゼミ）に、令和5年度の検討テーマの一つとして、ウェブアーカイブの利活用、情報発信方法を取り上げていただき、学生による現場視察や意見交換を行った。

今後は、より効果的な情報発信に向けて、学生からの提案も参考としながらウェブアーカイブの改善等を行っていく。

### 【学生からの主な提案】

- ・ こども用資料は文字が多く見にくい。  
→すべての漢字にふりがなを振っていたところ、小学校5年生以上で習う漢字に限定する改善を行った。(R6.1 対応)
- ・ トップページの情報量が多くどこを見て良いか分かりづらい。  
→トップページのレイアウトを修正するとともに、情報量を最小限としリンク先のページを参照するよう改善した。(R6.1 対応)
- ・ 動画をウェブアーカイブで公開することで、より空気感を伝えることができる。
- ・ 現場見学を行う際は、歩きながら事案に係るクイズを出してみてはどうか。